

# オモシロ幼虫大集合！

- 期間：4月24日（土）～5月23日（日）
- 会場：こんちゅう館内 多目的ホール
- 内容：「でかいよ！」「きもいよ！」「いたいよ！」「はげしいよ！」…ユニークな10のテーマにそって、生きた幼虫や写真パネルなどを展示・解説します。また、珍しい幼虫図鑑や生薬（漢方薬）、フィギュアなど、幼虫の魅力を多面的にご紹介します。  
巨大なアクタエオンゾウカブトムシのイモ虫、カレハカマキリや赤ちゃん、珍しいムカシトンボのヤゴなど、オモシロ幼虫に会いにきてくださいね！（松尾）



マペットキアゲハ



カブトムシ(左) アクタエオンゾウカブトムシ(右)



カレハカマキリ



生薬孫太郎虫(ヘビトンボ)



ムカシトンボ

## イベント案内

- ★ 3月 ① 工作「ぱたぱたバタフライ」：21日（日）、28日（日）  
1回目/10：00～、2回目/11：00～、3回目/13：00～、4回目/14：00～
- ★ 4月 ② 「むしむしクイズラリー」3日（土）、4日（日）  
1回目/10：00～12：00、2回目/13：00～15：00
- ③ バックヤードガイド「飼育室ツアー」：10日（土） 13：30～14：30
- ④ 虫さがし「春のめざめ」：17日（土）、18日（日） 10：30～11：30
- ⑤ 虫講座「幼虫いろいろ」：25日（日） 13：30～14：30
- ★ 5月 ⑥ バックヤードガイド「樹木園ツアー」：15日（土）、22日（土） 13：30～14：30
- ⑦ 虫さがし「花に集まる虫」：16日（日）、23日（日） 10：30～11：30

- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止・変更などの可能性があります。
- ※ ②のみ自由参加。その他は、すべて「事前申し込み制」です。
- ※ 募集定員数は、各回とも25名程度。応募多数の場合は抽選となります。

こんちゅう館 News 新シリーズ Vol.4 春号 2021年3月1日

編集/発行 広島市森林公園 こんちゅう館

〒732-0036 広島市東区福田町字藤ケ丸 10173 番地

TEL (082)899-8964 FAX (082)899-8233 HP <http://www.hiro-kon.jp/>

# こんちゅう館 News

み〜んな主役！！ 虫の館のスターたち ④

## ハナカマキリ *Hymenopus coronatus*

ハナカマキリ科 カマキリ目



雌成虫

1 齢幼虫

雌幼虫

花に擬態する昆虫として有名です。ランの花を思わせる淡いピンクまたはクリーム色の体色、花びらのような「ひだ」のある脚など、花になりきっています。この見事な擬態を生かして植物上で待ち伏せし、やってきた昆虫を捕らえます。最も花に似た時期は2齢～終齢幼虫です。成虫は褐色の斑点が入り、やや地味な色彩になります。1齢幼虫は黒とオレンジ色の体色です。餌は、ショウジョウバエ、ガなどです。ショウジョウバエは果物を利用して飼育室内で増殖させ、ガは飼育室の灯火に夜間飛来した個体を翌朝採集します。繁殖にも取り組んでいます。本種はカマキリのなかでも特に雌雄の体格差が大きいので（雌の体長は約70mm、雄は約35mm）、交尾前に小さな雄が雌に食べられてしまわないよう、雌には事前に十分な餌を与えます。また、以前孵化直後の幼虫の大半がアリに食べられてしまったことがあるので、現在は卵のうの発見次第、安全なところに保管しています。（松尾）

パピヨンドームの舞姫 ④

# ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

シロチョウ科 チョウ目



卵

幼虫

雄(上) 雌(下)

蛹

ツマベニチョウは、世界最大のシロチョウです。同じ科のモンシロチョウと比べ、倍ほどの大きさがあります。日本では、宮崎県以南から南西諸島にかけて分布しています。

彼らのおもしろい所はその幼虫の姿です。体は新幹線のように流線型りゅうせんけいをしていて、表面はざらざらとしています。また、胸部の左右に一对の目玉模様めたまようがあります。威嚇いかくのために胸部を上方に突き出した姿は、まるでヘビが鎌首かまくびをもたげたように見えます。ただ、その姿は人の目にはヘビというにはあまりにも小さく、擬態ぎたいの効果があるようには全く思えません。果たして彼らの姿を見てどう思うのか、天敵てんてきとなる鳥たちにも意見を聞いてみたいものです。

この幼虫は当館で飼育している中でも一番怠惰たいだです。新しい食草の葉に移してあげないと、いつまでもたっても古い食草の上でおなかをすかせ、飢えて死んでしまいます。大食漢だし、さわるとプリプリと機嫌きげんを損ねるけれど、どこか可愛いやつらです。(藤井)

## トンボ池の四季 2021 春

春、様々な生き物が冬眠とうみんから目覚め、トンボ池はにぎやかになります。気温が上がるにつれて池の周りでは様々な植物が芽吹き、それを食べる昆虫たちが目覚めます。水中ではニホンヒキガエルの黒いオタマジャクシが浅瀬を埋め尽くします。

さらに、この時期に池を目指して集まってくる生き物がいます。トノサマガエルとシュレーゲルアオガエルが池に集まり、盛んに鳴きながら縄張りなわばりを主張します。カエルを食べるヘビやアオサギも、鳴き声に誘われて池を訪れます。4月にもなれば、クロスジゲンヤンマやクロイトトンボも飛び始めます。多くの生き物が観察できるため、観察会でトンボ池の生き物探しを実施するのもこの季節です。(逸見)



アメンボの交尾

新緑のトンボ池

クロイトトンボの産卵

ニホンヒキガエルのオタマジャクシ

### こんちゅう館の季節の虫

ナナホシテントウ *Coccinella septempunctata*

「さわると黄色くて臭い汁を出すよ」子供たちはよく知っています。たしかに毒キノコみたい。

それでも、春の訪れを実感させてくれる可愛い虫です。

(坂本)



### パピヨンドームの花

パパイヤ *Carica papaya*

南国フルーツ  
パパイヤの花には、雄花(奥)と雌花(手前)があります。実が黄色く熟すまでの数か月間は、待ち遠しいものです。(藤井)

